

五里地区小中一貫教育学校

【第14号】

建設準備委員会だより



このたよりは、玉里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第14回建設準備委員会の様子をお知らせします。

第14回建設準備委員会を開催

11月27日（月）に第14回建設準備委員会を開催し、以下のことについて協議・報告を行いました。

【議事内容】

全体配置計画（案）について、平面計画（案）について、施設整備方針（案）について



全体配置計画(案)について 平面計画(案)について 施設整備方針(案)について

前回の建設準備委員会での意見を踏まえて、教職員と事務局で平面計画の協議を行いました。平面計画の検討にあわせ、配置計画を修正し、この案により、グループ協議を行いました。そこで挙げた意見を含め、今後も検討を行っていきます。

○全体配置計画（案）

前回の案からの変更点

①校舎の形状

⇒校舎の端から端まで見渡すことができる（視認性を確保）
I型校舎へ変更

②校舎の向き

⇒採光（日当たり）を考慮し、校舎全体を南向きに変更

③ポーチ

⇒給食を準備する際、外部空間を通らないよう、ポーチを取り止め、内部空間化

④中学部の昇降口を設置

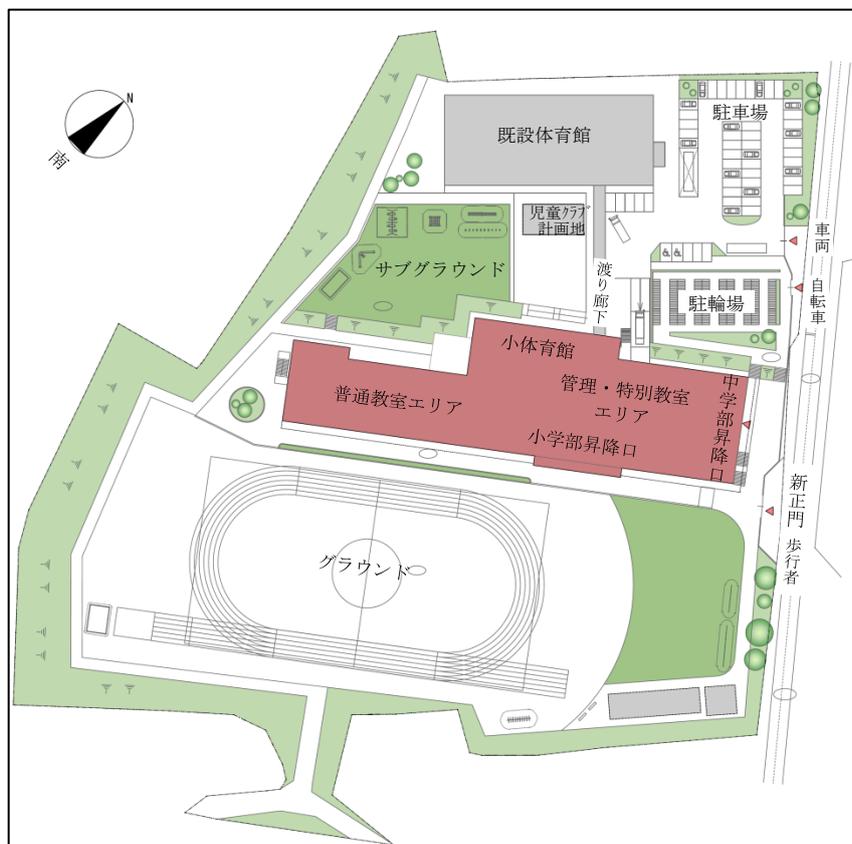
⇒駐輪場から校舎正面の昇降口までの動線が長くなってしまったため、道路側2階に中学部用として、昇降口を設置

⑤校舎を建設する位置の高さ

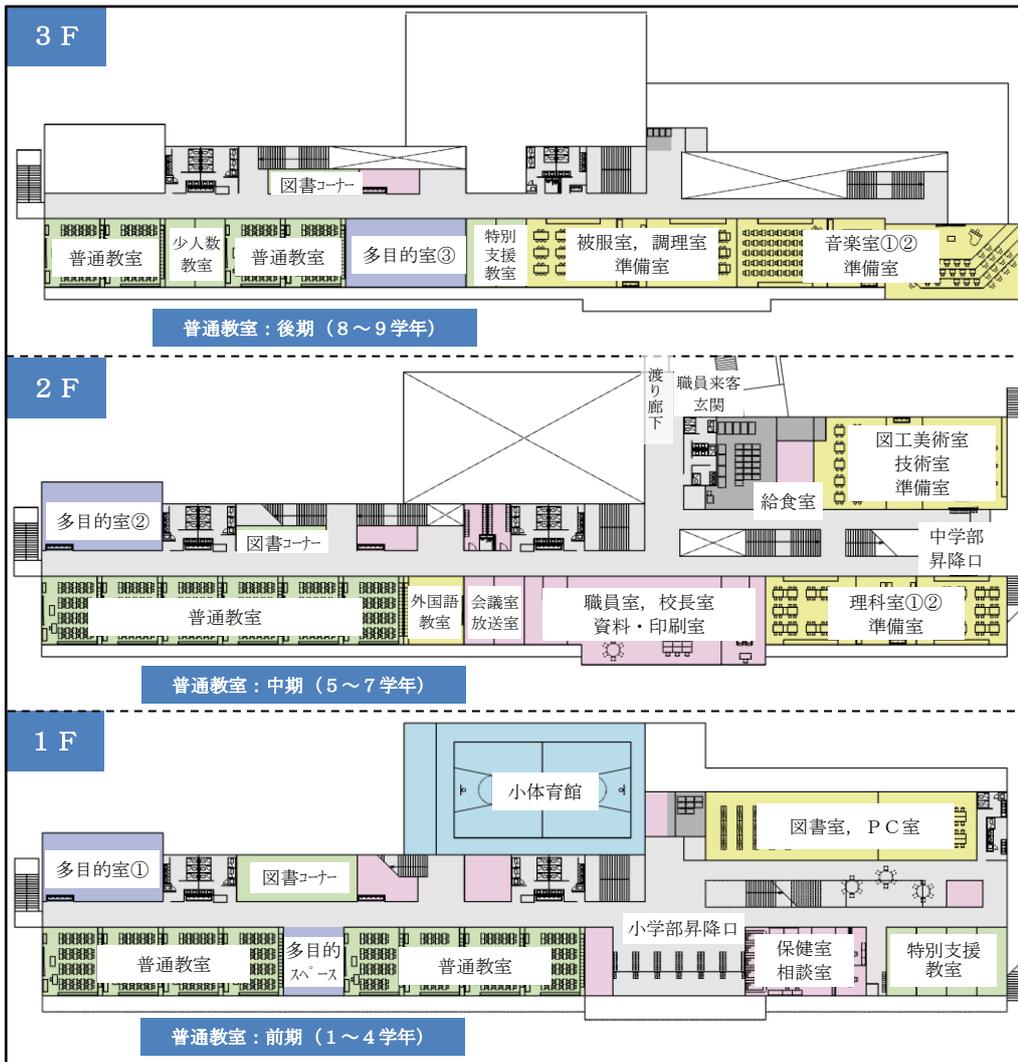
⇒既存校舎が建っている高さから、既存グラウンドの高さへ変更。新校舎とグラウンドの高低差をなくし、スムーズな動線を確保

⑥遊具エリア

⇒サブグラウンドへ配置し、安全を確保



○平面計画（案）



○施設整備方針の
主な内容

昨年策定した基本構想の施設整備方針は、下記の点で計画に反映されました。

方針

① 一貫した教育活動と多様な展開を実現する学校

- ・ 学年区分の区切りに応じた普通教室の配置
- ・ 普通教室に十分な収納スペースを確保
- ・ 日常的に学ぶことができる図書コーナーを各階に配置
- ・ 学年段階区分に応じた学習環境の整備
- ・ 高齢者から子どもまでが利用することを想定し、ユニバーサルデザインに配慮

方針

② 明るく笑顔のたえない楽しい学校

- ・ 各階の多目的室やエントランスホール、小体育館等の多目的空間の設置
- ・ ゆとりある廊下の設置
- ・ 多目的トイレの設置

方針③ 玉里地区の豊かな自然環境と共存する学校

- ・ 内部空間の木質化により、あたたかみのある室内環境を整備
- ・ 吹き抜け、ハイサイドライト（天井付近に設けた窓）による自然採光を取り入れた施設計画

方針④ 安全性に配慮した安心できる学校

- ・ 鉄筋コンクリート構造により、耐震安全性能を確保
- ・ 校内の視認性や防犯性に配慮したI型校舎

○主な意見

- ・ サブグラウンドが2階の職員室から死角になっている。現在も行っているが、休み時間などの際に職員が外へ出て、見守りを行うと良いのではないかと。
- ・ 教室は広いことに越したことはないのですが、教室の広さも検討してほしい。
- ・ 職員玄関と給食室が隣に位置し、渡り廊下も近接している。子供たちが体育館に移動する際、子供たちと来客が必ず会ってしまうので、使い勝手はどうなのだろうか。小体育館の位置を少しずらすと改善されるのではないかと。
- ・ 小学部と中学部の昇降口が分かれており、良いのではないかと。中学部は階段を上って昇降口に向かうので、雨天時でも滑らないような素材で階段等を造ると良いのではないかと。

※会議の議事録等は、市ホームページで公開しています。
<http://city.omitama.lg.jp/0025/genrel-2-001.html>



次回の建設準備委員会は、1月下旬を予定しています。日程が決まり次第、市HPでお知らせいたします。傍聴希望の方は、事務局までご連絡ください。

発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

（事務局）小美玉市教育委員会

施設整備課 学校づくり推進係

〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111（内線2212・2216・2217）

Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp